

腰椎手術クリニカルパス

病名()

氏名(様)

	外来	入院～手術前日	手術当日(手術前)	(手術後)	術後1日目	術後2～3日目	術後4～7日目	術後8日目～	術後11～12日目 退院(転院)
説明	○入院前準備センターでお話を聞きます。 ○入院申し込みなど手続きの説明をします。	○麻酔科医の診察があります。 ○主治医より手術説明があります 主治医の状況によって遅くなることもあります。ご家族の方もお待ちいただきますようご協力お願いします。	手術: 時 分 予定 家族の方は、手術予定時間の1時間ほど前には病棟にお越し下さい。	全身状態が不安定な場合は集中治療室(HCU)へ入室することがあります。					入院後2週間で転院か退院となります。 
治療処置検査	○術前検査があります。 ・血液検査 ・心電図、レントゲン 	○リストバンドを装着します。 ○弾性ストッキングの測定をします。 ○足背に印を入れます(看護師)	手術中、家族の方は4階手術室前でお待ち下さい。 	○自動血圧計がつかます。 ○酸素を使用します。 ○傷口にチューブが入ります → 問題がなければ翌日には抜けます。 ○弾カストッキングをはきます。 ○足にマッサージ機がつかます。 ○点滴がはいります。 医師によるガーゼ交換があります(適宜) → 採血・レントゲンの検査が入ります(適宜) →					ガーゼなどの被覆材を除去します(退院前日) →
薬	○現在内服中のお薬(全種類2～3日分)と、お薬手帳を持参して下さい。 ○常備薬(市販薬・サプリメント)服用については医師に確認して下さい。	手術前日の夜から食事・水分・内服薬の変更指示が出ます。説明は、入院後に看護師から行います。	○背中に痛み止めのチューブが入る場合があります → ○手術当日の吐き気・痛みに対しては点滴を使用します。	○朝から鎮痛剤の定期内服をします。 術後は院内処方薬に切り替わります。常備薬の内服再開は、医師に確認してください。					
食事			絶飲食 	○術後3時間以降、お腹が動いていれば水分が飲めるようになります。 	朝から食事開始になります				
排泄				尿カテーテルが入ります(手術中にはいります)	○ベッド上安静中の排便は、床上便器を使用します。 ○リハビリ状況にあわせて尿カテーテルを抜きます。				
活動		病院内は自由です →		ベッド安静です 	○コルセットを装着し、リハビリを開始します。 ・傷口のチューブが抜けてから本格的にリハビリを行っていきます。 ・リハビリの進行にあわせて、車椅子、歩行器・杖を使用していきます。 ・術後リハビリで腰をひねらないような起き上がり練習を行い、座位での自己装着練習をしていきます。 				
清潔	○爪を切って下さい。 ○指輪は外して下さい。	○手術前日はシャワー浴を行って下さい。午後入院の方は自宅でできるだけすませて下さい。 			○体を拭きます。 尿カテーテルが入っている間、毎日陰部洗浄を行います。 		術後5日目以降でシャワー浴を開始します。		
その他	○手術準備物品 ・T字帯(1枚) ○コルセット作成 ○必要に応じて地域医療連携センター介入、転院調整が始まります。 ○禁煙して下さい。 ○除去物について ジェルネイル/マニキュア、エクステンション(まつげ、付け毛)など、専門店での除去が必要なものは外して下さい。	○病棟案内をします。 ○手術の流れを説明します。 ○手術必要物品を確認します。 ○現在使用しているコルセットを持参して下さい。 	〈手術室入室前チェック〉 ○身体から外せるものは、すべて取り外して下さい。 例)○アクセサリー ○マニキュア ○入れ歯、湿布薬 ○コンタクト・レンズ ○金庫の鍵 (家人に預ける)	☆術後足にマッサージ器がついていますが、足は積極的に動かして下さい。 ☆術後、翌朝までは2時間毎に足の運動・痺れの状況を確認します。	☆弾カストッキングの使用により、皮膚にかゆみや痛みを感じる事があれば看護師に伝えて下さい。 ☆術後、わからないことがあれば、看護師にその都度確認してください。			◎この用紙は入院時必ず持参して下さい。 ◎治療はこのクリニカルパスを基準に進めていきますが、個人差により一部変更する場合があります。 ☆診断書・証明書等が必要な場合は、文書窓口(2階)で手続きして下さい。	

